

「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求める決議」

国は、本年4月24日に本市及び県に対し、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故の影響によって県内で発生した汚染焼却灰など、高濃度の放射性物質が含まれた指定廃棄物の処分場建設の候補地として、千葉市中心区にある東京電力千葉火力発電所敷地内を正式に選定したことを伝えた。

本市議会は、未来の千葉市と千葉市の子供たちのために下記の理由により、それぞれの排出自治体内での保管を行うための再協議を強く求めるものである。

記

1. 本市で今後、約30年以内に震度6弱以上の地震が高い確率で起こるとの研究結果があり、発生時には液化現象や津波により、処分場が破損し、水質や大気が放射性物質により汚染される被害が発生するおそれがあること。
2. 候補地は、住宅地に近接した場所に位置しており、住民の感情として到底受け入れられるものでなく、地震被害を初めとした災害発生時には多くの住民に影響が生ずること。
3. 風評被害により、農水産業への影響、人口の減少、地価の下落などのおそれがあること。
4. 本市においては、海辺を活かしたまちづくりを推進しているところであり、候補地はその中心となる地域に近接しており、大きなダメージを与えるおそれがある。選定手法において観光等に資する地域は除外すべきであると考え。
5. 候補地選定の過程が不透明のままであり、市民に正確な情報公開がなされていない。

以上、決議する。平成27年6月8日  
千葉市議会（提出先）環境大臣

市政アンケート

● 指定廃棄物の長期管理施設候補地選定について  
どうお考えですか？皆さんのご意見をお寄せください。

- お名前
- ご住所
- TEL/e-mail

ご意見▶

FAX: 043-216-3891 までお送りください

市政報告会のお知らせ

8月29日(土) 10時~12時

たばた直子事務所で行います。

テーマ：指定廃棄物長期管理施設について

- ※ 予約不要・参加無料ですので、お気軽にお越しください。
- ※ またご希望があれば、車座集会を行います。お仲間を3~4人集めていただければ、集会所等、お近くで開催いたします。お電話にて受け付けます。

たばた直子事務所

T261-0011  
千葉市美浜区真砂3-4-4 2F

《千葉海浜交通》  
● 稲毛海岸駅発~稲毛駅行きバス  
真砂第三公園バス停前  
■ 電話：043-216-3861  
■ FAX：043-216-3891



地域の居場所作りを始めます。

ほっこりするスペース「ひだまり」

みんながほっこりできるスペースを作りました。「ふらっときて、ほっこりしていける場所にできたら」と願って...

地域の話、介護の話、高齢になったことで不安に思っていること、子育ての話、仕事と家庭の両立の話など、ちょっと誰かと話したいなと思ったらお立ち寄りください。

- 開催日：8月から毎月 最終金曜日 13時半~15時
- 参加費：無料
- 場所：たばた直子事務所

○ 次回開催日  
8月28日 13時半~15時

★ 今回は認知症予防の体操を行います。お気軽にご参加ください。



新しい会派でスタートしました。

前期は民主党公認議員8名で会派を組んでいましたが新たに連合推薦議員として交流があった無所属議員等で構成される未来創造ちばの4人の議員と共に新会派を結成し第2会派12人でスタートを切りました。市民の方々の生活を第一に考え、積極的な政策提言・議会改革を行っていく所存です。

私の今年度の役職は、都市建設委員会副委員長・保健所運営委員会委員です。



千葉市議会議員

たばた直子

指定廃棄物 長期管理施設 候補地選定についての特集

議会報告 レポート VOL.18



新しい任期になり、私たち世代がこれからも住み続けたい、そして子どもたちのふるさとして誇れる千葉市のために今後も取り組む所存です。4年前の初当選直後に、放射能汚染の問題について、市民の方と共に、安全対策に取り組んだことを思い出します。今期も、初めて放射能汚染に係わる問題に直面することとなり、使命のようなものを感じます。

放射能物質を含む指定廃棄物の長期管理施設の候補地(中央区蘇我の東京電力千葉火力発電所)選定について一般質問をしました。

東日本大震災の福島原発事故による放射能物質の汚染について、放射性物質汚染対処特措法の完全施行により、放射性セシウム濃度1キロあたり8000ベクレルを超える焼却灰等の指定廃棄物は国が処分することになりました。

安全に処理するための施設

- 分散保管されている指定廃棄物を集約して管理するために、県内に1か所、国が長期管理施設を設置します。



環境省は、指定廃棄物が大量に発生し、保管が逼迫している都道府県では、平成26年度末を目途として国が必要な処分場等を、集約して設置することとし、栃木県・宮城県・茨城県・群馬県・千葉県の5県に対し、選定に係る協力を要請しました。千葉県では4回の市町村長会議を経て、4月24日に環境省から本市に対し、詳細調査候補地の選定結果について県内5000か所の国・県・民有地の中で評価結果が高かったことから東京電力千葉火力発電所を選定したと報告がありました。市議会では環境省と2回、直接質疑応答を行い、さらに民主党千葉県連でも独自に環境省との質疑応答の機会を設けました。しかしながら、選定経緯が不透明であり



納得がいかないこと、さらには候補地に選定された土地の安全性も不十分であるとの認識から私も他会派と共に「排出自治体内での保管を行うための再協議を強く求める決議」を提出し、可決しました。



液状化の可能性が高い

【意見要望】 候補地は、海に囲まれた埋め立ての土地であり、千葉県も環境省に対し、対象地域から除外すべきと求めている。しかし、環境省の回答では液状化は対策可能であるとの見解から、意見は反映されず、対象から除外されていない。対岸の蘇我地区廃棄物埋め立て処分場では道路アスファルト舗装の一部陥没、コンクリート製護岸の1箇所に亀裂等の被害が発生し、さらには千葉港市原防波堤にも被害があった。対象から除外するよう求めている。

津波・高潮の影響が懸念される

【市の答弁】 津波対策につきましては、国では最大と考えられる津波高は3メートル程度と想定する一方、候補地は地盤が東京湾平均海面より4メートル程度高いところにあり、影響は少ないものと説明を受けている。高潮対策については、詳細調査において、過去の気象状況などを把握したうえで防波堤、盛り土など必要対策工を含めて検討すると説明を受けている。

【意見要望】 国土交通省港湾局の東京湾の大規模高潮浸水想定概要では、浸水の可能性が高いことが示されている。震災について、国では、平成25年に中央防災会議首都直下地震対策検討ワーキンググループが首都直下地震の被害想定と対策の最終報告を発表し、県では被害想定の見直しを行っており本市でも対策を検討すること。環境省にも、再度検討するよう求めている。

人への影響

【質問】 候補地から2キロ圏内には人家はないものの、その先は住宅地が広がり、人口密集地。地域住民への影響が大きいのか？

【市の答弁】 市民等から施設の安全性について、懸念する意見が多く寄せられており、安全性を慎重に確認していくことが必要と考えている。

【質問】 近隣事業所等に従事する従業員も対象にすべきだが、対象外。どう考えているのか？

【市の答弁】 国からは近隣に所在する事業所・施設で勤務されている方や、施設を利用されている方などについては、施設の安全性を確保し、理解していただけるよう、説明を行いたいとの説明を受けている。

## ！ 経済・人口減少への影響

【質問】 観光・経済・人口減少、県都千葉市としてのイメージ低下など、風評被害という以上に影響があると考えが？

【市の答弁】 国からは、風評被害対策だけでなく地域振興策も含めて、関係省庁と連携して対応することとし、地元自治体が対策を実施する場合、国が自治体の設置する基金に交付し支援することとし、27年度に、5県全体で50億円が予算措置される。指定廃棄物について新聞やホームページでの広告等での周知等も検討していると聞いている。

## ！ 搬入時のリスク

【質問】 県内で指定廃棄物を保管している自治体は東葛地区が多いため、本市へ移動する場合、長距離かつ市街地を通らざるを得ないが？

【市の答弁】 国からは、ガイドラインに基づき、放射性物質が飛散・流出しないよう、容器などに収納するほか、雨水が侵入しないよう遮水シートで覆い、指定廃棄物を運搬していることを表示すること、また、車両の空間放射線量を測定するほか、運搬の時間帯やルートを工夫するなど万全を期して行うと説明を受けている。

## ！ 避難計画・体制

【質問】 施設において事故等が発生した場合、避難計画・体制等を考えているのか？

【市の答弁】 管理施設の安全性について、国に詳細な説明を求め、慎重に確認を行っているところです。避難計画や避難体制などについては、今後、国と協議して参ります。

## ！ 説明会の目的

【質問】 市民説明会の実施をもって住民理解が得られたと認識してはならないと考えるが、説明会の目的は？

【市の答弁】 国からは、詳細調査候補地を選定した経緯や理由、施設の安全性などについて、地域住民に丁寧に説明することや市民の意見を聞くことを目的としているとの説明を受けている。

## ！ 第三者委員会からの選定評価結果の審査が必要

【質問】 栃木県では、学識経験者らが構成委員である指定廃棄物処分等有識者会議を設置。会議では、判断材料の一部データが4項目欠落していることが指摘された。千葉県でも、環境省からの選定経緯の情報提供は十分ではなく、結果に納得できる状況ではない。選定経緯・結果を客観性・透明性のあるなかで、調査する場が必要であることから、県に求めるべきだが？

【市の答弁】 現段階で、千葉県に有識者会議の設置を求める考えはない。

## ！ 環境省・市町村長会議の問題点

● 他県では全市町村に対し、今後の保管方法について意向をアンケートで聞いているが、千葉県だけでは行われておらず一か所所で保管する方向性に十分な合意が得られていない。

● 他県では行われているのに、千葉県では候補地選定後に市町村長会議での報告がなされていない。

【質問】 栃木県では候補地決定の翌日、市町村長会議が開催された。結果は県内市町村に関わること。環境省に聞くとの開催は予定していない。栃木県では県からの要請があったためとのこと。再協議を求めていく上でも、早急に、市町村会議の開催が必要。国・県に対し、開催を求めるとき。

【市の答弁】 今後の市町村長会議の開催については、国において検討していくものと考えている。

## ！ 市長の考え

【質問】 議会の決議を尊重し、国に再協議を求めるとは、市長のこれまでの国の説明に対する認識、及び、再協議についての真意。

【市長答弁】 本市では、これまで国から3回にわたり詳細調査候補地の選定経緯や施設の安全性等に関する説明を受けてきたが、本市から求めている資料等で提示されていないものもあるなど説明が不十分であり、詳細調査候補地選定について納得できる状況にはない。  
また、市民等からは、当該施設の立地について懸念する意見が多数寄せられており、6月8日には市議会にて決議が採択された。このような状況を踏まえ、本市としては、市民等の懸念を考慮するとともに、市議会の決議を尊重し、指定廃棄物排出自治体内で保管を行うための再協議を求めたところ。

## 私の意見、要望

- 再協議を求める立場から、環境省に対し、公式な文書として回答を得られる質問書を提出すべき。
- 再協議を求める理由
  - 候補地選定までの経緯と情報公開が十分でない。
  - 評価で一位だった候補地でさえ、安全であるとは言いがたく、適切に管理できる候補地を県内で一か所、選ぶことができるのか？
  - 新たな保管施設を設置する際に周辺住民の理解が困難である。

プロフィール

- 1976年生まれ 39歳
- 0歳時に稲毛海岸三丁目団地に転入。稲毛幼稚園出身、小学校3年生まで千葉市で過ごす。
- 父の仕事の関係で名古屋・東京へ。
- 1994年 都立竹早高等学校 卒業
- 1996年 東京女子大学文理学部 中退
- 結婚・出産を経て、再び千葉市へ。
- 子育てをしながら、財団法人等で非常勤職員として勤務。学校 PTA 活動やボーイスカウト活動を通じて、子育ての課題、地域連携の重要性を感じ。公費で民主労組協議会議員候補となり、2011年に初当選。
- 民主党千葉県連 青年委員会・男女参画共同委員会
- 全国若手市議会議員の会 所属

## 県内各市町村の保管状況

千葉市  
指定廃棄物のすぐそばでは、ガイガーカウンターの数値は0.839マイクロシーベルトでした。



松戸市  
クリーンセンター前の道路を挟んで反対側、すぐに住宅街があることに驚きました。クリーンセンター設置後に開発され、住宅街になったとのことでした。以前は、フレコンバック（土嚢袋のような素材）のまま、屋外に保管されていましたが、現在は厚さ15センチ、放射線遮へい率89%以上とされるコンクリート製のボックスカルバートと、プレハブの中で保管されています。フレコンバックの耐久年数を経過した際には、入れ替えを行う作業を行政職員が行わなければならないとのことでした。

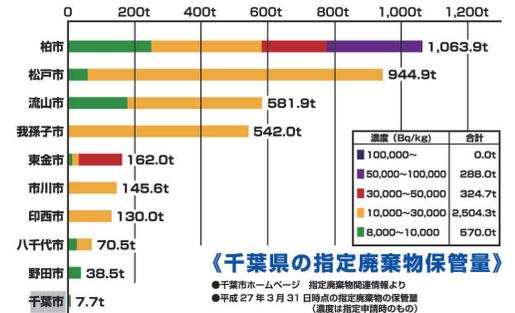
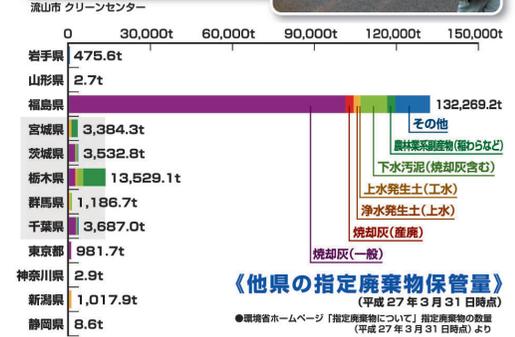
## 柏市

除染計画を策定、実施したほど、放射能汚染の被害を受けた自治体です。当初はクリーンセンターの地下スペース等にドラム缶で、スペースいっぱい量を保管していたとのことですが、現在は民間施設も含め、数カ所で管理されており、コンクリートの厚さ30センチ、放射線遮へい率99%のボックスカルバートで保管しています。ガイガーカウンターの数値は0.045マイクロシーベルトでした。職員さんは年間被ばく量を測定するため、線量計を携帯していますが、年間1ミリシーベルトを超えておらず、数値が出ない程度の微量とのことでした。



## 流山市

プレハブに保管されている以外に、ブルーシートに包まれた状態で、屋外に保管されている指定廃棄物がありました。ボックスカルバートは現在、建設中でした。



今回、視察させていただいた自治体は国の汚染状況重点調査地域に指定されており、除染・健康被害対策等に尽力され、指定廃棄物についても、手賀沼終末処理場への搬入と期限切れの搬出など、今まで奮闘されていたことを改めて実感しました。  
この問題は県内全体で考えていかねばならないと感じました。